

文法を楽しく!!

「現象描写・判断・働きかけ」(1)

げん しょうびょう しゃ はん だん はたら

通信で習った項目：「は」と「が」、他動詞・自動詞、受身、やりもらい、～てきた、～ていく、～ている、～てある、～ために、～ように、～たら、～と、～て～なくて/ないで、**現象描写・判断・働きかけ**

今回と次回は、文をとらえる上で非常に重要な、そして、役に立つポイントについて、考えたいと思います。

それは、その文が「現象を描いている文」なのか、それとも、「話し手の判断を表している文」なのか、それとも、相手(聞き手)に対して「働きかけをしている文」なのかということです。次の(1)～(3)の文において、話し手がどういうとらえ方で話しているかを考えてください。

問題1：(1)～(3)の文は①～③のどれに当たるか選んでください。

- (1) 公園で子供達が元気に遊んでいる。()
- (2) 元気に遊んでいる子供達を見るのは、気持ちがいい。()
- (3) テレビばかり見ていないで、公園で遊んでください。()

- ① 子供に対して働きかけをしている。
- ② 遊んでいる子供を見ることに対して、判断や評価をしている。
- ③ 子供が遊んでいる状況を描いている。

わかりましたか。

答えは、(1)－③、(2)－②、(3)－①になります。

(1)は「子供が遊んでいる」状況をそのまま述べているので、「現象描写」の文と言います。(2)は、良いか悪いか、どう思うかなどの、話し手の判断を述べているので「判断」の文、(3)は「遊んでください」と相手に働きかけているので「働きかけ」の文と言います。

角田(2006)は複文(「～たら」「～ために」などの従属節を伴った文)を取り上げ、「現象描写」「判断」「働きかけ」の文にはどういうものがあるか、次のような例を挙げています。

現象描写のレベル：主節が実際に起きた現象、今ある現象、あるいは習慣的に起こる現象。

- (4) 雨が降ったために、地面が濡れている。
- (5) このボタンを押すと切符が出る。
- (6) よく勉強したにもかかわらず、試験に落ちた。

判断のレベル：主節が話者の判断を表す。
(義務、免除、許可、推測、後悔、感情、願望、意思、警告など)

- (7) 午後は暑くなるので、泳ぎに行くつもりだ。
- (8) 宿題を出せば、掃除をしなくてもよい。
- (9) けがをしたが、試合に出場したい。

働きかけのレベル：主節が話者から相手への働きかけを表す。

- (10) 暗くなったから帰ろう。
- (11) 仕事が終わったら、はやく帰りなさい。
- (12) 勉強しているのに邪魔するな。

どのような文が「現象描写」「判断」「働きかけ」になるのか、だいたいわかりましたか。

この三つのとらえ方がわかると、今までわからなかったことがいろいろ見えてきます。例えば、物がどこにあるのか、人や動物がどこにいるのかを表す「存在文」がありますね。存在文にはどうして次のabのような二つの言い方があるのでしょうか。

- (13) a. 部屋の中にねこがいます。
- b. ねこは部屋の中にいます。

また、次の「として」と「としては」の違いは何でしょうか。

- (14) a. 山川さんは政治家として活躍している。
- b. 山川さんは政治家としてはあまり有能ではない。

また、日本語には同じような意味を表す類義表現が多くあります。条件を表す「～と・～ば・～たら」、また、理由を表す「～から・～ので・～ために」などの違いは何なのでしょうか。

これらのことは、「現象描写」「判断」「働きかけ」という三つのとらえ方で、かなりの部分、疑問を解決することができます。



(13) のaは、「ねこ」のいる状況や、事実・現象をありのままに描いていますから、「現象描写」ととらえることができます。bは「ねこ」についての話し手の判断・説明ですから、「判断」の文ととらえることができます。(14) のaは、山川さんの状況をそのまま描いているので「現象描写」、bは「山川さん」についての話し手の評価ですから「判断」と理解することができます。話し手が判断をまじえず、単に「現象描写」しているのか、話し手の判断・評価が入っているのかによって、(13) (14) はaとbに分けられているのです。

では次に、条件「～と・～ば・～たら」について考えてみましょう。次の1～18の文は「現象描写」「判断」「働きかけ」のいずれかを表すように作られています、文として適切かどうか考えてください。

問題2: 次のそれぞれの文が適切なら○、不適切なら×、どちらとも言えない場合は？を、() の中に入れてください。

【と】 現象描写

- () 春になると、花が咲く。
- () このボタンを押すと、電気がつく。

【と】 判断

- () 急ぐと、間に合うだろう。
- () お金を借りると、返さなければならない。

【と】 働きかけ

- () 彼が戻ってくると、出かけよう。
- () 向こうに着くと、電話をください。

【ば】 現象描写

- () 春になれば、花が咲く。
- () このボタンを押せば、電気がつく。

【ば】 判断

- () 急げば、間に合うだろう。
- () お金を借りれば、返さなければならない。

【ば】 働きかけ

- () 彼が戻ってくれば、出かけよう。
- () 向こうに着けば、電話をください。

【たら】 現象描写

- () 春になったら、花が咲く。
- () このボタンを押したら、電気がつく。

【たら】 判断

- () 急いだら、間に合うだろう。
- () お金を借りたら、返さなければならない。

【たら】 働きかけ

- () 彼が戻ってきたら、出かけよう。
- () 向こうに着いたら、電話をください。

○や？が付けられましたか。

では、今行った判定をもとに、次の表を完成させてください。それぞれのマスの中に、みなさんの総合的な判断としての○×？を入れてください。例えば、「～たら」が現象描写で使われると思ったら○、使われないと判断した場合は×というふうです。非常によく使われると思ったらときには◎を入れても結構です。

	現象描写	判断	働きかけ
と			
ば			
たら			

ちなみに、私自身の判定の結果を下に示しておきます。みなさんの結果と似ていますか。それとも、かなり違いますか。

	現象描写	判断	働きかけ
と	◎	○	×
ば	○	◎	?
たら	?	○	◎

これについての解説と、理由を表す「～から～ので・～ために」のとらえ方については次回に行いたいと思います。

参考文献

角田三枝 (2006) 「「接接続とモダリティの階層」とその応用」日本語学 vol.25

このコーナーの担当者：市川保子 (日本語国際センター客員講師)

このコーナーについてご感想や質問があれば送ってください。「ヤスコの日本語ハウス」という個人のホームページを開いています。

英語の翻訳も付いていますので、ぜひ活用してください。ホームページのアドレスは、<http://homepage3.nifty.com/i-yasu/index.htm>です。